

第2回検討委員会を開催

10月3日、第2回暮らしやすい村のランドデザイン構想検討委員会を村役場で開きました。会議には23人の委員が参加。今回から新たに3人のメンバーが加わり、暮らしやすいむらづくりについて検討しました。

会議で中村房永^{ふさなが}委員長は「今回から新たに3名の委員に参加していただいた。3名は、さまざまな分野で活躍されている方なので、とても良い意見をいただけることを期待している。皆さんも負けずに、活発な意見交換をお願いしたい」とあいさつしました。

議事では事務局が、▶まちづくり▶庁舎建設構想▶道の駅建設計画—3つのワークグループに分かれて検討した状況の報告を行い、委員やアドバイザーが意見交換しました。



第2回ランドデザイン構想検討委員会の様子

委員からこんな意見が出されました

■まちづくり

☆一次産業の担い手

◆担い手を育てるような体験プログラムが必要

◆安定した生活ができるようにするため、収益を上げて収入が増えることが重要

☆移住などの居住空間の確保

◆空き家が見られるが、なぜ、貸すことや売ることができないのか、実態を調べるのが重要

☆循環型社会への対応

◆木質バイオマスを利用した再生可能エネルギー活用の可能性検討

■庁舎建設構想

☆移転場所

◆みんなが使いやすい場所で、施設が分散しないように集約

■道の駅建設計画

☆防災拠点として

◆自然災害の発生が多くなるなかで、ボランティア、援助隊の野営する広い駐車場が必要

☆稼げる仕組みづくりが必要

◆産直機能が入ることが前提で、稼げる仕組みが必要